



私ばうまく息ができない。

風の海

nagi
no
umi

監督：早川 大介 / 脚本：いながききよたか / 出演：永岡 佑 小園 優 柳 英里紗 湯澤 俊典 外波山 文明
2019年 / 日本 / 95分 / カラー / ビスタ / 5.1ch / DCP / 製作・配給：cogitoworks Ltd. © 2019 cogitoworks Ltd. All Rights Reserved. <https://www.nagi-no-umi.com>

穏やかで美しい海に囲まれた蔦淵（こもぶち）は、しかし、朝陽の差さない町だった。
この町で誰からも愛された男の死によって、残された人々の運命が動き始める。

私は、海が嫌いだ。

私は、海が好きだ。

だって全てを奪うから。

だって全てを生かすから――

陸（おか）でしか息ができない人間は、

狭い土地にひしめき合って生きてゐる。

互いのからだを擦りつけながら

互いのあたまを踏みつけながら。

でも、やがてみんな海に還る。

つかの間の人間たちを、風の海が見ている。



このままじゃ窒息しそうだ―― 宇和海と山に挟まれた小さな集落から、東京へ飛び出していった圭介。ミュージシャンになるはずが大した成果も上がらないまま、ズルズルと10年が経っていた。ある日、田舎から一本の電話が入る。漁に出たまま行方不明になっていた兄の、葬式をあげることになったという。帰郷を渋る圭介。「ミュージシャンとして東京で成功している」と、皆に嘘をついていたからだだった。遅参した圭介を待っていたのは、兄の死で独りになった父、元妻ながら葬式を手伝いに戻ってきた沙織。最後に兄を目撃したという同級生の洋、そして、洋の妹で足の悪い凧と、ふるさと蔦淵（こもぶち）の海だった。圭介の帰郷をきっかけに、それぞれの想いがぶつかり始める。凧いだ宇和海が、静かに広がっていた。

あらすじ

「多分、変わりたくないんだと思う、この町」

「人が死んだときだけだ。この町に人が増えるのは。」

「あの人、この町の朝陽みたいな人だった。そうだったよね？」

「まったくこの町の人たち、言わないだけで全部筒抜け。……バカみたい」

「俺に見えとるものと、あんたに見えとるもんは違う。」



永岡 佑

小園 優

湯澤 俊典

柳 英里紗

外波山 文明

監督:早川 大介/脚本:いながきよたか/製作:関 友彦/プロデューサー:山田 真史

撮影:Keivan Salehpour/照明:Vince Paul/録音:星野 裕雄/整音・音響効果:古谷 正志/編集:中井 庸友/音楽:山下 雄太/助監督:小清水 潤

スタイリスト:海老原 由佳/ヘアメイク:村木 アケミ/宣伝プロデューサー:重久 夏樹/ビジュアルデザイン:川上 智也/スチール:三代 史子

2019年/日本/95分/カラー/ビスタ/5.1ch/DCP/製作・配給:cogitoworks Ltd. ©2019 cogitoworks Ltd. All Rights Reserved.

5.16(土)より公開

ユーロスペース
EUROSPACE

渋谷・Bunkamura 南交差点左折
☎03-3461-0211
www.eurospace.co.jp